

学際研究重点プログラム公募要領

1. 目的

学際科学フロンティア研究所では従来から「学際研究支援プログラム」の公募を行っているが、本学のグローバルビジョンに掲げられた「世界リーディング大学への飛躍」を実現するため、本学の強みを活かし更に異なる研究分野の研究者がネットワークを形成することで、世界をリードする研究領域を創出することを旨とする。これを目的とした大学主導の「学際研究重点プログラム」を公募する。

2. 応募要件

- (ア) 本学の専任教員がリーダー（応募責任者）となる研究プロジェクトを対象とする。
原則として、少なくとも2つ以上の部局が参加するプロジェクトとする。
- (イ) 応募責任者1名につき1件の応募を限度とする。なお、研究分担者として複数のプロジェクトに参画することは可能とする。
- (ウ) 他の専念義務のある研究者が参画する場合には、事前に当該専念プロジェクトの許可を得ること。

3. 研究期間

3年間

4. 採択件数

3件程度

5. 支援金額

1件あたりの支援金額の上限は総額5,000万円程度

6. 審査の観点

審査にあたっては、本学がワールドクラスに飛躍し、社会にインパクトある研究を推進することに寄与するプロジェクトを基軸とし、次のいずれかを目指すものとする。

- (ア) 本学の強みを活かし世界をリードする独創的な研究拠点を創出する。
- (イ) 社会の持続的発展に資する基盤を形成する。
- (ウ) 政策や社会的課題解決に貢献するイノベーションを創出する。

7. 審査項目

- (ア) 上記6の審査の観点（ア）、（イ）、（ウ）のいずれかの目的を達成するためにプロジェクト終了時の目標が明確であるか、その実現への計画がしっかり練られているか。
- (イ) 研究成果に発展性があり、当該プロジェクトの実施により本学の研究が飛躍的に発展することが期待できるか。
- (ウ) 海外の研究機関との連携など、本学の国際的存在感を高め研究者のネットワークの拡大に資するか。
- (エ) 学際的であることや独創的であることなど、新たな学術や価値観の創出を目指す

ものであるか。

8. 経費使用等に関するルール

- (ア)使用できる費目は人件費、旅費、その他諸経費とする。(原則として設備、備品は不可。)
- (イ)年度計画に基づく使用とするが、プロジェクト期間内での前倒し、繰越しは可能とする。年度毎研究の進捗状況、予算の使用状況等を評価し、支援金額の見直し等を行う。
- (ウ)東北大学会計規程等を順守し適正に使用する。
- (エ)応募書類に記載した内容が虚偽であったり、関係法令、規程等に違反するなどがある場合には、採択を取り消すことがある。
- (オ)プロジェクト期間終了後に、別途指定する方法により実施報告書を作成する。
- (カ)本プロジェクトで得られた知的財産権の取り扱いについては、東北大学発明等規程が適用される。

9. 選考方法

選考は理事（研究担当）、学際科学フロンティア研究所長及び理事（研究担当）が指名する者によって構成される学際研究重点プログラム選考委員会において、書面及びヒアリング審査によって行われ、必要に応じて有識者に意見を求め決定する。

10. 応募方法

- ・所定の様式により応募書類を作成し、応募責任者が所属する部局長から応募を行う。
- ・応募書類の提出期限及び応募書類の提出先は公募通知等で別途示す。